

キムチで国際交流

韓国のグループが6年振りに来村

キムチづくりの講習をきっかけに、飯館キムチの会（愛澤美智子会長）と交流を続けている韓国のグループが4月19日から20日までの2日間、村を訪れ久しぶりの再会を喜び合いました。

今回村を訪れた韓国のグループは8人で、うち

6人は以前にも村を訪れたことがあるとのことで、対面したメンバーらは久しぶりの再会に握手をしたり、抱き合ったりして喜びをあらわしていました。

19日の夜、「老人いこの家 やすらぎ」において行われた交流会では

村産の山菜を使った手作りの料理などがテーブルいっぱいになり、並べられ、韓国の皆さんはおいしそうに食べていました。

愛澤会長によると、交流を続けて13年目。近年は、個人や夫婦で村を訪れていたそう、グループで村を訪れるのは約6年振りとのこと。



全員での記念写真

交通安全はみんなの願い

交通安全街頭キャンペーン

4月9日、村公民館前において、交通安全推進団体による「交通安全街頭キャンペーン」が行われました。

この日参加したのは、原町地区交通安全協会飯館分会をはじめ交通指導隊員など21人。原町警察署飯館駐在所員により公民館駐車場へ誘導されたドライバーに、チラシやヤクルトなどを配りながら「安全運転をお願いします」と笑顔で呼びかけていました。このヤクルトは、飯館ライオンズクラブ（菅野敬会長）から提供されたものです。



笑顔で交通安全を呼びかける参加者

農業委員がボランティア活動

新鮮でおいしい野菜を

4月22日の夕方、特養「いいたてホーム」の菜園において、村農業委員によるボランティア作業が行われました。この日の作業は、野菜を植える苗床づくりで、トラクターや管理機で土を起こした後、肥料を散布し、野菜を植えるための準備をしました。

今後、キュウリやトマト、なすなどが植えられ、収穫した野菜は、ホームの食事の材料として利用されるそうです。



作業のようす